

2019年度

中国留学報告書

実習先：北京師範大学

実習期間：2019年8月26日～12月28日

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21018017
太田 大貴

目次

- 1 留学先及び実習期間
 - 2 留学先概要
 - 3 留学目的
 - 4 留学内容
 - 4-1 留学のスケジュール
 - 4-2 留学の詳細
 - 5 当初の目的及び目標への到達度
 - 6 反省・課題
- 謝辞

付録

留学日誌

1 留学先及び実習期間

留学先：北京師範大学 漢語文化学院

実習期間：令和元年 8 月 26 日（月）～令和元年 12 月 28 日（土）

※帰国は 12 月 28 日（土）

2 留学先概要

（1）大学について

北京師範大学は首都北京の海淀区に位置しており、創立から百年以上の歴史を持つ大学である。北京大学、清華大学、中国人民大学とともに北京四大大学の一つに数えられている。大学内には、図書館、体育館、バスケットコート、テニスコート、バレーコートなどの多くの施設があり、学習面だけでなく運動面でも充実した生活が送れると思われるので活用すべきである。また、多くの留学生を受け入れているので留学生寮や食堂などの設備も充実している。そして学校のすぐ近くにバス停があったり、少し距離はあるが地下鉄の駅があったりと、公共交通機関が充実しているので休日に観光したい場合には活用すると良い。

（2）大学で行われている教育について

北京師範大学ではまずクラス分けのためのテストがある。内容としては筆記試験と口頭試験という形になっている。その後テストの結果でその人のレベルに合ったクラスに分けられる。クラスは 15 人ほど（クラスによって人数に差がある）だが、先生方はしっかりと教えてくれるので充実した内容の授業を受けることができる。北京師範大学での成績は新潟国際情報大学の単位に換算される。

3 留学目的

今回の留学の目的は、中国語におけるリスニング能力、スピーキング能力、リーディング能力全ての向上、そして中国文化を体験することである。授業以外で中国語を使用しない日本では、学習しても単語を忘れることが多く、使いたい時に使えないということが多くあった。そのため表現したいことができず、悔しい経験をたくさんした。このことから中国語が生活するために必要な状態となれば、能力を向上させることができると思い、目標として設定した。そして中国文化は講義内で触れていくうちに興味を持ったので、現地でしかできない文化をたくさん体験したいという気持ちがとても強かったので、たくさんの文化を体験できるように行動することを目標にした。

4 留学内容

以下から留学の内容を記述する。

4-1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下の通りである。

月	日（曜日）	午前	午後
8	26（月）	出国	到着、入寮
	27（火）	携帯電話購入	Wi-Fi 登録 銀行口座開設の手続
	28（水）	銀行口座開設の手続	入学手続き
	29（木）	クラス分けテスト	
	30（金）	留学生入学式	
9	1（日）	クラス分け発表	教科書販売
	2（月）	授業開始	
	13（金） ～15（日）	中秋節	
	14（土）	日中学生交流会	
	16（月）	成績評価開始	
10	1（火） ～7（月）	国慶節 内モンゴルツアー	
	31（木）	中間テスト	
11	～1（金）		
	3（日） ～8（金）	研修旅行 安徽	
	16（土）	HSK 試験	
12	15（日）	北京の夜	
	23（月） ～24（火）	期末テスト	
	27（金）		修了式
	28（土）	出国	帰国

4 - 2 留学の詳細

i) 携帯電話購入

中国ではスマホ決済が主流になっているので支払いや中国国内での連絡用のために購入。内容としてはスマートフォン、SIMカード、通話料込みで1300~1500元ほどで購入が可能。購入するときには現金支払いなのであらかじめ日本を出国する前から準備が必要。

ii) 銀行口座開設の手続き

口座を開設するときに、電話番号（中国で使用する携帯の電話番号）、銀行内でもらう書類に必要事項を書き、手続きをする。銀行内にはほかにも口座開設のために来ている人が多い可能性があるので一人一人早めの行動が重要になる。

iii) Wi-Fi 登録

登録するにはまず学生証にお金をチャージした状態にする必要がある。手続きするには60元分のお金が必要となる。60元を支払うと1ヶ月間寮内でWi-Fiを使用することができる。 ※北京師範大学では学生証にお金をチャージすることでWi-Fiのお金を支払うことができるだけでなく、食堂での食事代や学内のスーパーで支払いができる。学生証にチャージするときは100元単位でしかチャージできないので注意。

iv) 入学手続き

手続きをする際に、パスポートが必ず必要になる。ほかには、手続きをする場所でもらう書類に必要事項を書き提出すれば済むのであまり大変ではない。

v) クラス分けテスト

中国語のレベルに基づいてクラス分けをするためのテスト。筆記試験と口頭試験がある。後日結果に基づいたクラスが発表される。

vi) 留学生入学式

留学生のための入学式。入学式と言ってもスーツを着る必要はないので特に緊張することはない。

vii) 中秋節

中国ではこの期間、家族で食事を楽しむことや、月餅を食べて月見をするという風習がある。この期間中、授業はないので出かけたり、部屋で休んだり自由に過ごせる。

viii) 日中学生交流会

日本語学科の学生の方々が新潟国際情報大学生のために開いてくれる交流会。お互いに出し物をした後に、交流する機会がある。この時に積極的に話すと良い。

ix) 国慶節

中華人民共和国の建国日で1週間にわたる長い休暇なので、観光や旅行に行くことができる。

x) 内モンゴルツアー

2泊3日の旅行ツアーで、博物館に行く砂漠でアクティビティ。乗馬など様々な体験ができる。強制参加ではないので希望者のみの参加となる。行く場合は費用として1000元ほどかかる。長期休暇を充実させたい人は参加すると良いと思われる。

xi) 中間テスト

テストは、リーディング、リスニング、スピーキングの3科目から1つずつあり、リーディングとリスニングは筆記試験、スピーキングは筆記試験と口頭試験がある。

xii) 研修旅行 安徽

漢語文化学院主催の一週間にわたって語学学習をかねて博物館を訪れ、文化を体験するなどの研修旅行である。細かい班に分かれ行動するが、各班に班長がいるので安心して行動できる。行く場所は毎年違うため、申し込み期間までどこに行くかは分からない。

m) 修了式

各クラスで最も成績・授業態度を含めて優秀だと先生、クラスメートから認められた代表者一名と作文コンテストに応募して賞をとった生徒が賞状や記念品が渡され表彰される。表彰される人もされない人も修了式後に成績表や卒業証書などが渡されるので参加が必須である。

5 当初の目的及び目標への到達度

i) リスニング能力、スピーキング能力、リーディング能力全ての向上

個人的な実感として、スピーキング、リーディングの能力の向上もあったが、リスニング能力の向上が一番感じられた。授業が始まってから最初の方は先生の話を理解することがとても難しかった。しかし、授業を受けていく中で次第に理解できるようになり、最終的には先生の話や会話練習の内容が理解できるようになった。さらに HSK の 4 級を受けて合格できたので、能力の向上が自分自身で感じることができ、とてもよかった。

ii) 中国文化の体験

中華才芸という中国文化を体験する授業や研修旅行など様々な場面で中国文化に触れる機会がありとても貴重な体験をした。授業内では、切り絵や太極拳、茶道を体験した。切り絵では作るのが大変だが、できたものを見て感動したり、太極拳では一つ一つの動きの独特な雰囲気を感じたり、茶道では日本の茶道とは違った部分を知ることができ、毎回楽しく行うことができた。研修旅行では、博物館を訪れてたくさんの発見があり、とても興味深いと感じた。

6 反省・課題

まず反省として、コミュニケーションを積極的に取れなかったことがある。留学に行く前は積極的に行動しようと思っていたが、本番になって自分の中国語の能力がほかの人と比べて低いと感じてしまい友達作りにとっても苦戦した。最初からおじけずに行動していれば良かったと後悔している。

課題となるのは、中国語の使用頻度が一気に減るということである。留学期間中は中国語が生活において必要になっていたので使う機会がとても多かったが、日本に帰国してから使う機会は授業以外でないと思う。さらに帰国してからはアルバイトなどで学習の時間が減る。なのでいかに向上した能力を維持するかが大切になる。まずは今まで学習してきたことを復習し、その後に新しく学ぶ部分に触れていけるように努力したい。

謝辞

今回の留学で、北京師範大学にて丁寧でかつ熱心に指導して下さった先生方、留学生活で困ったときに手助けして下さった羅穎さん、たくさんの場所を紹介、案内して下さった日本語学科の皆様、その他の関係者の方々に深く感謝申し上げます。また、本学の2019年度前期の授業、現地でのサポート、帰国後の各種活動への指導を賜りました佐藤若菜先生、區建英先生には心より感謝いたします。ほかにも留学のために必要な書類や航空券の手配など様々な準備をして下さった学務課の方々にも感謝いたします。最後に新潟国際情報大学からいただいた奨学金により、中国留学参加が実現し、有意義な留学生活を送れたことを、心から感謝いたします。

付録：留学日誌

付録では留学中の授業について細かく記載する。

授業スケジュールは以下のとおりである。

		星期一	星期二	星期三	星期四	星期五
8:00～8:45	第一节	听力	会话		读写	会话
8:55～9:40	第二节					
10:00～10:45	第三节	读写	听力	会话	听力	读写
10:55～11:40	第四节					
昼休み						
13:30～14:15	第五节				辅导	
14:25～15:10	第六节					
15:30～16:15	第七节		中华才艺			
16:25～17:10	第八节					

※101-2班の授業スケジュール

・授業スケジュールはクラスごとで変わる

授業は45分×2の90分授業である。45分終わると10分の休憩時間がありまた45分授業がある。

各教科の詳細

i) 听力 リスニング

教科書の内容や新出単語をCDや先生の声を聴きながら学習する。

テストはすべて授業内容に沿ったリスニング形式になっている。

ii) 读写 リーディング

長文を読みながら文章の内容や単語の意味や文法の使い方を学習する。

テストでは筆記問題の他に作文形式の問題も出題される。

iii) 会话 スピーキング

会話形式の文章を読み、2人ペアになって交互に文章を読んだり、先生の質問に答えたりする学習内容になっている。

テストでは筆記試験に別日に行われる口頭試験がある。

iv) 辅导 チュートリアル

自習時間であり、分からない部分を先生に聞くことができる。1対1で質問できるので分からない部分があれば活用すべきである。

v) 中华才艺

太極拳、切り絵、茶道、書道など中国文化を体験・学習できる。



